

AGRI TIME

二度目の冬をむかえています。里山に雪が降る日の静かさは、街中の雑踏を忘れます。

2014
冬号
Vol.4

AGRICOLA EVENTOS チャレンジ農園吉山 tel.082-839-3234



1月・2月の営業
11:30~15:00
16:30~20:00(L.O 19:00)
土・日・祝はカフェタイムあり

おかげさまで、 吉山BIANCOは 1周年をむかえました!

手のひらにのる
【プチヴェール】
フランス語で
「小さな緑」



2012年11月9日のオープンから早いもので一年が経ちました。

何もなかったこの場所に建物が建ち始めたのは夏の暑い盛り。何ができるのだろうと気になっていたと話されるお客様がいらっしやり、温泉やゴルフの帰りにお寄り下さる方や、地元の方のご利用などなど。多くのお客さまをいただきました。それから5月の産直市のオープン。法人よしやまさんの、採れたて新鮮野菜はファンもできるほど人気です。チャ

レンジ農園でも、旬の野菜を作り、吉山ビアンコでご提供してきました。

なかでも、プチヴェールは昨シーズンからご好評いただいています。プチヴェールとは、フランス語で小さな緑を意味し、その名の通り手のひらにのるほどの大きさ。芽キャベツとケールの交配品種で、加熱しても鮮やかな緑色はそのまま。非球体のため、緑の小さな花のように見えます。吉山ビアンコのメニューに出ている時には一度ご賞味ください。

チャレンジ農園では、一年を通じて自然とふれ合えるイベントも行ってきました。今後も店頭、HPなどでお知らせしていきます。春には目に前に芝桜が広がり、夏には蛍が見られます。実りの秋にはおいしい話があるから。冬は薪ストーブでほっこりと。

楽しみ方は、何通りでも。今年は、1月2月の寒い冬も休まず営業しています。

※火曜定休 また、雪の為臨時休業の場合があります。



日々寒くなってきています。チャレンジ農園にも冬が来ました。冬を越すプチヴェールやタマネギなどの植え付けは終わり、農園はひっそりしています。中でも今年の冬は、小麦の栽培にチャレンジすることになりました。冬の寒い中で芽を出し、踏まれてもスクスクと育ち春には穂を実らすあの小麦です。もちろん小麦の栽培はしたことはありません。種の撒き方や、栽培方法なども全て地元の家の方々に教えていただきながら試行錯誤してやっています。

また、農園に来られた方が、小麦畑の中を散歩できるように畑の中に遊歩道を作ってみました。収穫の時期には黄金色に染まった小麦畑を子供たちが走り回る西洋画のようなイメージをしています。無事穂をつけてくれればいいのですが…。収穫の仕方や、製粉をどうするかなど、まだ課題もたくさんありますが、麦のように踏まれても立ち上がる勢いでチャレンジしていきたいと思っています。
(チャレンジ農園 羽熊)



はぐまん

小麦の成長が
まちどおしい～

農業体験できます! ● お問い合わせはこちらまで ●

HP内の「EVENT情報」からも申し込みができます。+++

チャレンジ農園吉山 <http://agricolaeventos.co.jp/>

event calendar

チャレンジ農園吉山では、自然と触れあえる様々なイベントを企画しております。

1月

2月

3月

4月

4月上旬
山菜イベント(日時未定)

毎月第1、第3日曜日ひろしまみなとマルシェ出店
最終日曜日こころマルシェ出店



観世音菩薩立像。古代中国の随又は唐の前期時代のもものと推定される。(写真右)



本堂円陣天井板時絵。



ほうりゅうじ 法隆寺

戸山にあるお寺のうち、一番湯来に近いところにあるのが法隆寺。建立は大正14年。

初代住職、森岡了宣師は「僧侶は学問を研鑽せざれば、指導者として、社会に役立つことはできず。」の思いを持ち、尊敬する香川県西覚寺の青樹波水師の元に入門。約一年宗学に専念。僧侶の資格を得、さらに京都市の仏教学院で一年学んだ。また三重県四日市、法泉寺で法務について二年間学んだ。さらに宗教家として、社会に立つには学問の必要なことを痛感し、高松市にあった専正学寮に入学。二年間学問を学んだ。多くの県を巡歴し、二年に及ぶ普及に精進し、縁あって再び吉山へ帰った。

大正14年、新しく寺院建立を願う多くの門徒が、境内地の開拓造成に協力をし、本堂を兼ねた庫裏を建立。浄土真宗の開祖、親鸞聖人のみ教を、後世に伝えるため、仏法がますます広まり、法隆寺がいつまでも続くように、と。

現在は三代住職、森岡文隆師。境内には観世音菩薩立像をいつでも見ることができる。

吉山ビアンコからも徒歩圏内。法隆寺まで散策されてはいかがだろうか。